



長照寺だより

和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 摂取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: info@cyoshoji.or.jp



伝灯奉告法要記念「門信徒会親睦研修旅行」

平成28年10月5日～7日

「目には見えない仏のおはたらきにかなうというのは、どのようなことでしょうか」とお尋ねすると蓮如上人は「それは弥陀を信じておまかせするということである」と仰せになりました。

(蓮如上人御一代記聞書より)

「今こなければ、いつ来るのでしよう」



住職 本持 愚山

お寺の役目って何だろうとかんがえた時、一般的には儀式を行う所、しかも亡き方の為、ご先祖様方々が集う所、老人憩いの場として大変失礼な言い方をすれば、死に近い方々、あるいは死者に関わる事柄を扱う所と、よくもこんな真逆が伝えられてきたものか。「フー」と溜息が出てしまう。

もともとお寺と言う所は人間が人間らしく生きるにはどの様な道を歩むべきか、その道をお釈迦様のお示し頂いた仏道修業によって得られる人間形成の場なのでした。比叡山には根本中堂と言うお堂があり、そこで日夜勤めていた方々の中に高僧と言われる僧侶の出現によって如何にいくべきかの道が説示された歴史があります。

こうして仏教伝道者は全国を回っていましたが一定の場に落ち着き土地土地の人々に生きる為の教えを説いたのです。その場に建立された建物をお寺と言ひ教えを聞く場所を「根本中堂」から二文字を使ひ「本堂」とした事は皆様も知る所です。

時代は移り、文字通り「本堂」は人々が集う場所として提供されるようになりました。たとえば江戸時代は寺子屋として子供達の勉強の

場、又、お寺は人別帳を扱う、さしずめ役所の市民課としての体を為していたのです。従いまして、こうした本来の姿を取り戻すべく建立されたのが皆様の「長照寺」なのです。ですから基本的には共に語り、遊びを提供し皆様と共に楽しい人生を歩みましょうとお伝えしてきました。

この様な思いから出発したお寺ですが、当然私達には「やがて」があります。言うなれば「やがて」も生死しよじの問題を語る時、避けては通れません。その折は亡き方からメッセージを頂く場としてお勤めしています。ところがこの思いは世の中の風潮に惑わされお寺からの願いが届いていません。本当にもつたいなく残念な事です。ここで皆様、再度お寺に対する思いを考え直していただき、ご先祖様方に報告する「恵のおまいり」七五三、入園・入学・入社・成人式、結婚式・金銀婚式等々の通過儀礼に参拝し心豊かな人生を送りましょう。そうです。今お参りしなければ何時お参りするのですか？今しかありませんよ……。

合掌

伝灯奉告法要記念「門信徒会親睦研修旅行」

平成二十八年十月五日〜七日 京都・大阪方面

世話人 藤澤 博



平成二十八年十月五日より二泊三日で期待に胸を躍らせ門信徒親睦研修旅行に参加させて頂きました。

現役で仕事をしているため、なかなか日程が取れず、何年かぶりの参加となりましたが、今回の旅行の最大の目的が「伝灯奉告法要」のお勤めであったため、永年ご縁で役員（名ばかりで恐縮ですが）を務めさせている立場からこの機会に門信徒として本山をお参りさせて頂き、法要に参加することで改めて教えに向きあわせていただいた次第です。

門信徒会の旅行は、今までに参加なさった方には充分お判りと思いますが、和気あいあいの珍道中と云って良い程の楽しいものです。確にお勤め、参拝と緊張感のある厳粛なものもありますが、その他の日程は、充実した観光と移動の車中、宿での懇親会と、にぎやかで日常のストレス発散の場となる楽しいひとときです。

今回は、新幹線移動のため道中ものんびり過ごせ、初老？には身体的にも優しいものでした。

初日は、大阪城の見学と学生時代の修学旅行気分を味わい、二日目は龍谷ミュージアム拝観となかなか通常では足を運ぶことのない見学をさせて頂きました。

そして今回の旅行の最大の目的である西本願寺での「伝灯奉告法要」参拝。

ちなみに「伝灯奉告法要」とは宗祖・親鸞聖人があきらかにされた浄土真宗のみ教え（法灯）が聖人から数えて第二十五代となる専如ご門主に伝えられたことを、仏祖の御前に告げられるとともに、お念仏のみ教えが広く伝わることを願い、平成二十八年十月から平成二十九年五月にかけて一日一座、八十日間の長期に渡りお勤めされますご法要です。

三日目は、長浜城、黒壁スクエアを観光し、行く先々の車中で皆様方とたわいのない会話に花を咲かせ、日頃の雑念から解放されました。

門信徒会の方々とは生活環境、年齢、職業もまったく違った幅広い方との集まりですが、長照寺というお寺様を軸に輪が広がって、上も下もなく皆平等という気がします。

生かされている今の自分が、生きている時間をどう過ごし、社会や家族、回りの人々とどう関わって行くか。また、自分自身の考え方、行動で最後の時をどう迎えるかということにも気が付かされた旅行でもありました。積極的に行事に参加することにより得られる人と人の和らから貴重な体験こそが生涯の糧になる。生かされている時は最後の最後まで力強く歩ませて頂き、前向きに悔いのない日々にしたいたいものと思えたことが、この度の研修旅行の何よりの収穫でありました。

ぜひ、まだ旅行に参加されたことのない門信徒の方々には、楽しさ満載の長照寺門信徒親睦研修旅行に騙されたと思って参加頂きたい思います。

合掌



大阪城



通天閣



法要風景



法要風景

活動報告

平成二十八年度下期

伝灯奉告法要記念「門信徒会親睦研修旅行」

平成二十八年十月五日～七日

…京都・大阪・長浜方面

第二十五代専如ご門主が、浄土真宗のおみのりの「灯」を継承されたことを阿弥陀如来と親鸞聖人の御前で告げられる、「伝灯奉告法要」を参拝してきました。

また、道中は大阪城・長浜観光等盛りだくさんの研修旅行でした。

※写真は3ページに掲載

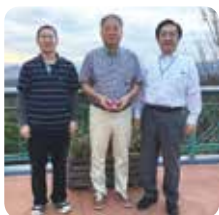
第四十四回門信徒会親睦ゴルフコンペ

平成二十八年

十月二十四日

…函南ゴルフ倶楽部

優勝 髭 数久さん
準優勝 石渡 浩司さん
第3位 藤澤 直樹さん



報恩講

ご講師「藤本 真教師」

浄土真宗の門信徒として最も大切なご法要です。親鸞聖人のご遺徳を偲び、生きる「力」をいただきます。

平成二十八年十一月二十日

…一五〇余名



境内清掃作業

平成二十八年十二月四日

長照寺境内(一〇〇余名)

新しい年を迎えるに

あたり、

感謝・感謝。



初参式

平成二十八年

十二月二十日

誕生の喜びを仏様に報告し、感謝するお参りです。

鈴木玲依(れい)ちゃん

平成二十八年十一月八日生



除夜会

百八ツばかりの煩惱ではないことを知り、これからは少しずつ出していきましよう。

平成二十八年十二月三十一日
…長照寺本堂・梵鐘(百十余名)



修正会・新年会

平成二十九年一月四日 ……五十名

心新たに出発。
今年こそはと
毎年思っている
自分がいた。



東京教区仏教壮年会連盟研修会

平成二十九年二月十九～二十日

……栃木県（鬼怒川）

先輩方々を敬いながら、若い者とも共生きの
強化団体です。



春季彼岸会法要

平成二十九年三月二十日
……一四〇余名

ご講師 「本持 愚山 住職」



つきじー泊(わんぱく)子ども会 (東京教区少年連盟主催)

平成二十九年三月二十八～二十九日

……築地本願寺

仏様のおはなし・ゲーム・全日空機体工場見学等、
盛りだくさんの内容を楽しんできました。



※写真は8ページにも掲載

今 後 の 活 動 予 定

平成29年

4月2日(日)	祝入園・入学慶讃法要・ 釈尊降誕・花まつり	本 堂
4月20日(木)	門信徒会親睦ゴルフコンペ	新沼津カントリークラブ
5月20日(土)	門信徒会定期総会	本 堂
6月11日(日)	門信徒会親睦ボウリング大会	ジョイランドボウルみしま
7月23日(日)	境内清掃作業・親睦懇親会	境 内
7月31日(月)～ 8月2日(水)	お寺の林間学校 (南ブロック門徒子弟研修会)	相模原市
8月13日～15日	合同盆法要(全8回)	本 堂
9月2日(土)	第22回全国仏教壮年東北大会	仙台市
9月23日(土・祝)	秋季彼岸会法要	本 堂
10月9日(月・祝)	寺報(第38号)発行	

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。

※定例法座は第3土曜日、午後1時より本堂にて開催。

※その他に親睦の集いを募集・計画中。

(日頃の忙しさから解放されて
気持ちが軽くなる自分を発見
できるかもしれません。)

築地本願寺常例布教出講

副住職 本持 信宗

二〇一七(平成二十九)年三月十七日(金)～十九日(日)の三日間、築地本願寺にて常例布教のご縁をいただきました。

とても大きな場でのお取り次ぎのご縁でしたので不安と緊張の連続でした。しかし、そんな私でありましたが、お聴聞に参つてくださる皆様の優しい領うなずきに助けられ、なんとか三日間話しきることが出来ました。

改めてご法座は布教使がつくっていくものではなく、お聴聞くださる皆様につくっていただく場であることに気づかされました。

この度のお取り次ぎは、お聴聞くださる皆様の、まことに尊いお育てにあずかる有難いご縁の場となりました。 合掌



つきじー泊(わんぱく)子ども会 (東京教区少年連盟主催)

平成 29 年 3 月 28 日～ 29 日 築地本願寺



築地一泊子供会

松本 祥英

今回、楽しかった事が二つあります。一つ目は、初めて弟と一緒に行った事です。今までは一人で参加していたけど、弟がいると言う事で心配もたくさんありましたが、とてもうれしかったです。残念ながら弟と班は違ったのですが、弟も他の人と仲良くしていたのでとても安心しました。

二つ目は、全日空工場見学です。特別塗装機が格納庫にありました。あまりの大きさにとてもおどろきました。色もきれいで興奮しました。着陸してきた飛行機にみんなの手をふると、パイロットの人もふり返してくれました。うれしかったです。

なかなか出来ない経験をさせてもらって、とてもうれしかったです。この会でいつも会う他の学校の友達とまた会うのが楽しみです。次の一泊子供会は京都だと聞きました。楽しみだなよ。



二〇一六年度つきじー泊子ども会

藤澤 月樹

私はこのつきじー泊子ども会で楽しかったことが二つあります。

一つは全日空工場見学です。ここでは飛行機のエンジンのしくみを教えてもらったり、実さいに飛行機を真近でみたりしました。とても楽しかったです。勉強にもなりました。

二つ目はリキジンピクニックです。リキジンピ

ックとはかく班たいこうでいろいろなゲームをして、順位をきそうプログラムです。

私の班、八班は連想ゲームの一回目で一位でした。けい品としてはすの花びらの秒をしたら「けは」という物をもぐえました。とてもうれしかったです。

この一泊二日の間でたくさん友達ができたり、楽しい思い出がいっぱいできたのでよかったです。

夏の林間学校も楽しい思い出をたくさん作れると思うので、ぜひたいに行きたいです。



参加者全員



長照寺参加者



ANA 機体工場見学



お勤め風景

編 集 後 記

- ☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。
- ☆お寺は「よろず相談処」です。
日頃悩んでいる事がありましたら、何でもご相談ください。
- ☆次回寺報は、平成29年10月9日(月)発行予定です。

●ご意見・ご要望は、寺務所まで
〒411-0044三島市徳倉1195-817
TEL・FAX 055-988-3900
編集人=長島・菊沢・斎藤・園田



築地探検



ツキジンピック